

「可視化」3,399 件で実施 知的障害者の取り調べ（警察庁）

警察庁は 5 月 25 日、取り調べの録音・録画（可視化）の試行の実施状況を公表した。

知的障害者を被疑者とする事件は、2016 年度中に 3,412 件あり、そのうち 3,399 件（99.6%）で延べ 2 万 799 回の録音・録画が行われた。1 事件当たりの回数は 6.1 回で、時間は 11 時間 3 分だった。

知的障害者に対する録音・録画の取り組みは 2012 年 5 月から全国の警察で試行されている。2016 年 4 月からは、発達障害や精神障害によりコミュニケーション能力に問題がある被疑者も可視化の対象になった。

（福祉新聞・第 2813 号 2017 年 6 月 5 日）